

## 第5章 かとり協働プログラム

---

# 1 かとり協働プログラムの目的

本計画では、第4章「環境施策」に記載した各種施策のうち市民、事業者、市が協働で実施することでより大きな事業成果と計画の実行性を高めることが期待できる施策について、香取市市民協働指針（かたりの風）の考え方を基礎としていくつかの施策をピックアップし、「かとり協働プログラム」として推進します。

なお、第2章「計画見直しの方向性」に記載したとおり、本計画の策定後に新型コロナウイルス感染症の影響により、対面で行う環境保全行動やイベントが中止を余儀なくされたため、かとり協働プログラムは当初の規模での事業展開に至りませんでした。そのため、改めてかとり協働プログラムに着手し、環境保全活動の拡大を図ります。

## 1-1 市民、事業者、市の協働の必要性

人口減少や少子高齢化の進行に伴う人口構造の変化は、市税の減収、社会保障経費の増大といった市の財政運営に影響を及ぼすことが予想され、環境分野においても限られた経営資源の効率的な運用のためにも「選択と集中」による行財政運営が求められることとなります。

このような状況のなか、限られた財政状況のもとで市の良好な環境状態を維持していくためには、これまで以上に市民、事業者、市の協働による取組の強化が必要です。

本市では、これまで環境の維持・保全に関わる人材の育成や市民活動団体との連携強化などに取り組んでいますが、参加者の固定化や高齢化の傾向が見られるなど、次世代の環境保全活動の担い手の発掘・育成が急務となっています。

## 1-2 かとり協働プログラムの目的

かとり協働プログラムは、これまで環境保全活動に参加したことがない市民、事業者の興味を引きつけ、全ての市民、事業者が環境保全活動の担い手となるべく、子どもから大人までが気軽に環境保全活動に参加できる取組を、市民、事業者、市の協働により展開する事業です。

「香取市市民協働指針（かたりの風）」に示された市民、事業者、市が相手の立場で、お互いを尊重する当事者主義のもとに、常に現場に出向き、そこに軸足を置く現場主義を前提とした環境保全活動を展開します。

本計画では「最初の一步」としての事業展開イメージや基本的枠組みを示していますが、引き続き、企画（Plan）⇒試用実践・実証（Do）⇒問題検証（Check）⇒改善（Action）のPDCAサイクルを繰り返しながら、各事業の充実を図っていくものとします。

### コラム：香取市市民協働指針（かとの風）とは

人口減少や少子高齢化など、社会環境が急激に変化しているなか、住民ニーズも様々な分野に広がり、地域課題も複雑多様化しています。

このようななか、住民サービスを提供し続けるためには、今まで以上に住民の皆さんの持つ能力や地域が持っている活力を、市と共にまちづくりに活かしていただく市民協働の取組が必要であることから、2009年3月に「香取市市民協働指針（かとの風）」を策定しました。

香取市市民協働指針（かとの風）では、子どもたちの笑い声が聞こえ、お年寄りの知恵が活かされ、心豊かに暮らしていくことのできる地域を残していくため、互いが尊重され、共に築き、共に守り育むことができる地域をつくっていく、そのために地域ぐるみで取り組む協働の原則を地域の約束として整理しています。

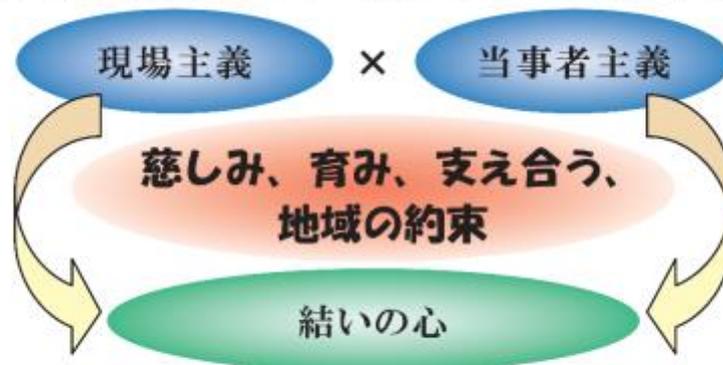
#### 地域の約束の行動理念

### 「慈しみ、育み、支え合う、地域の約束」

（現場主義、当事者主義のもと、結いの心を大切に育みましょう。）

#### 香取市市民協働指針（かとの風）

地域それぞれの想いを、ひとすじの風につむいで香取じゅうに吹かせよう



現場主義、当事者主義のもと、結いの心を大切に育みましょう

自分の地域に誇りが持てなければ、協働（地域ぐるみ）でまちづくりを推進していく気運は醸成されません。この地域を、この暮らしぶりを持続させたい、もっと心地良くしていきたいと願うことから地域ぐるみの取組である市民協働を大切にしていきます。

## 2 かとり協働プログラム

### プログラム 1

### 香取の生きもの調査

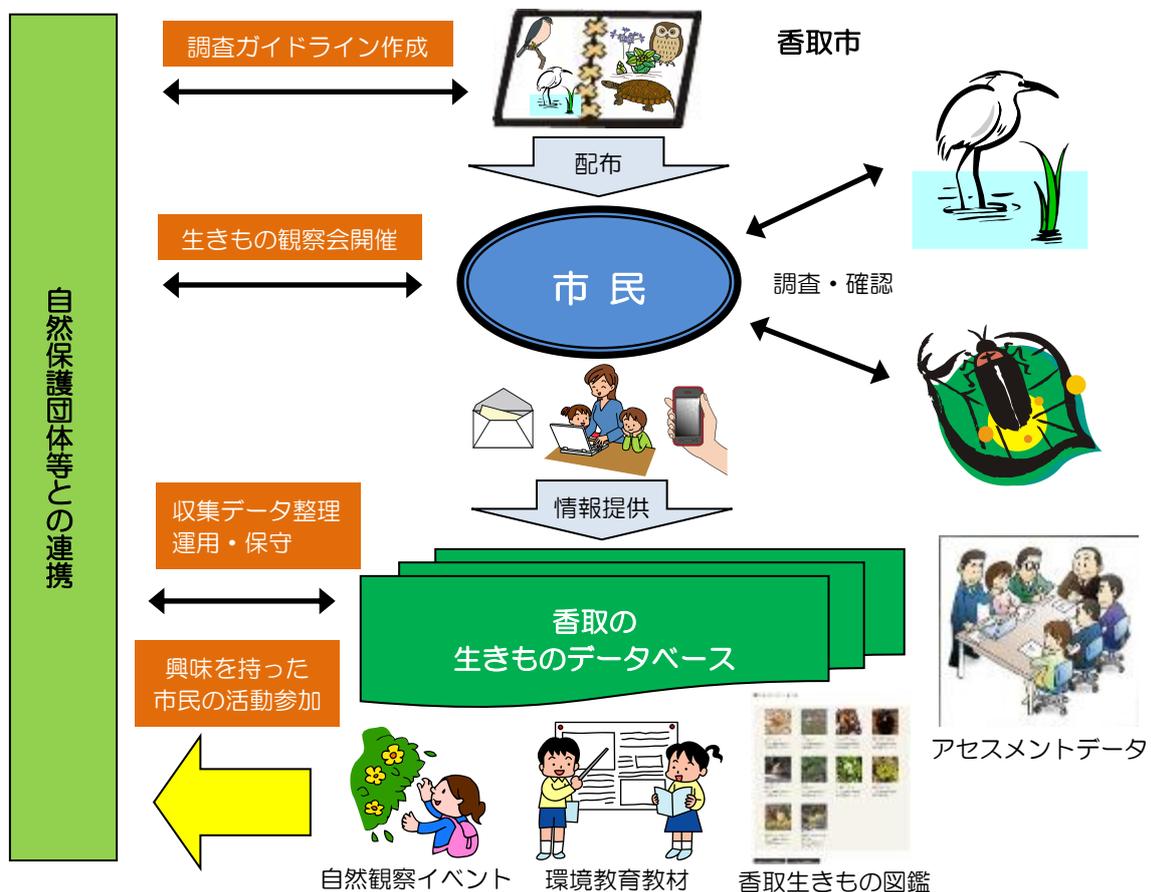
#### 香取の生きもの調査の概要

香取の生きもの調査は、OECM（自然共生サイト）の認定などを見据えつつ、市内の生物多様性の保全に向けた基礎情報として、市民参加によって市内に生息・生育する動植物の情報を募る継続的な「動植物調査」です。

具体的には、調査対象となる動植物を写真入りで紹介した「生きもの調査ガイドブック」を広く公表・配布し、市民に発見日時・場所、写真などの情報の投稿をお願いするものです。

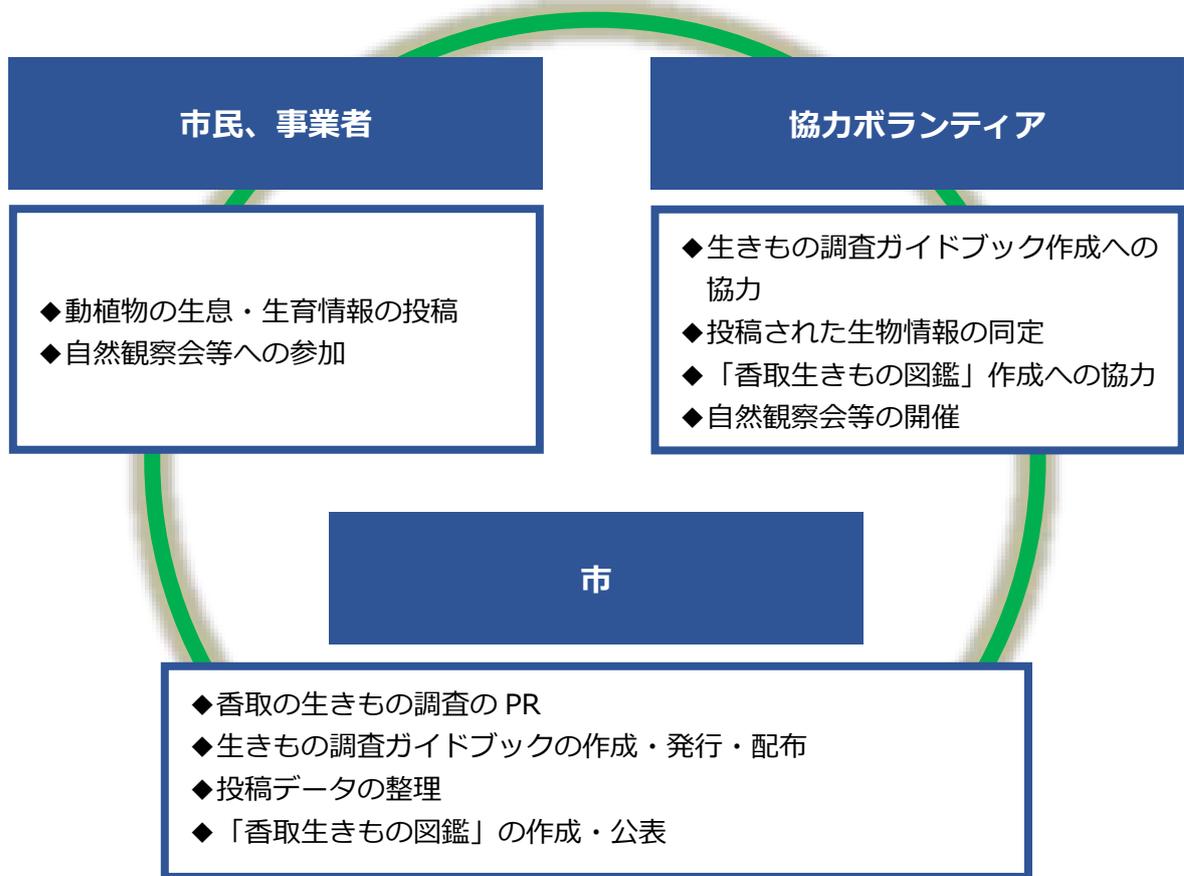
投稿された情報はデータベースに蓄積し、学校教材や自然観察講座等の資料としての活用のほか、希少動植物の保全対策や外来種対策などにも役立てていくことを企図し、将来的には「香取生きもの図鑑」の発行を目指します。

#### 香取の生きもの調査の実施スキーム





## 香取の生きもの調査の役割分担



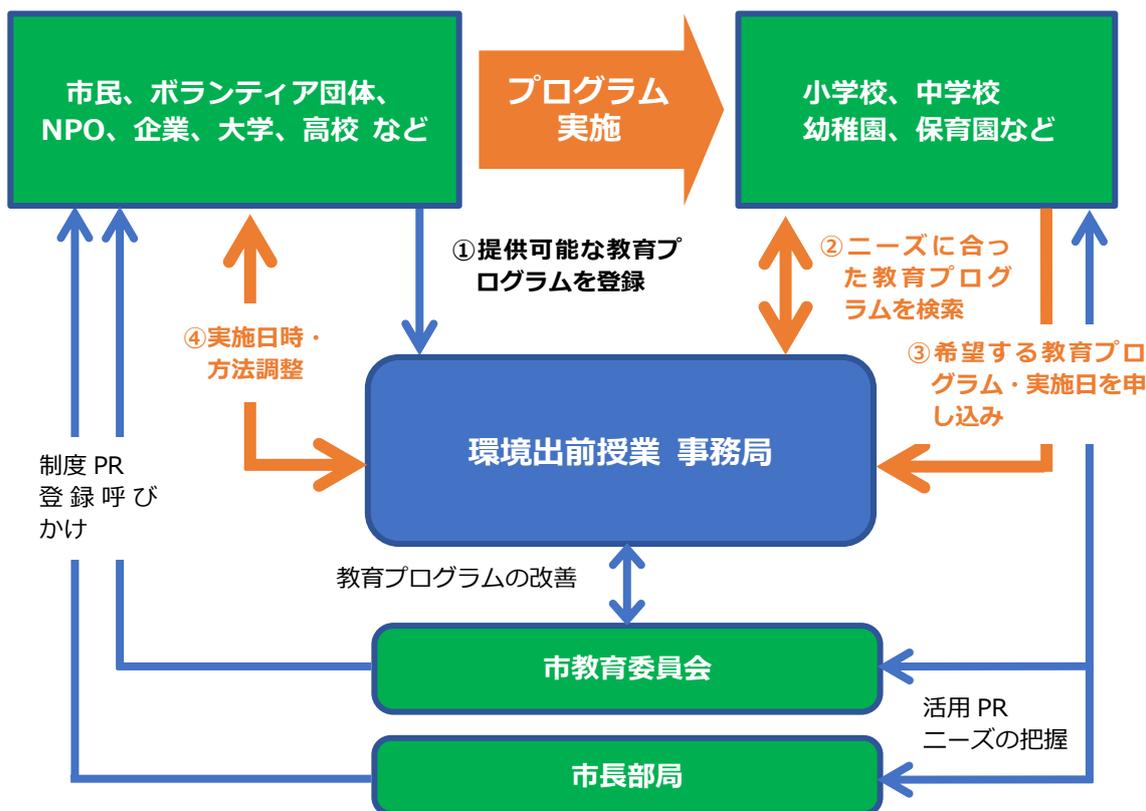
小中学校などへの環境出前授業

小中学校における環境教育・環境活動は、教育の場であると同時に、地域コミュニティの中心的な機能も担っている学校を拠点とするため、地域全体への環境活動の波及効果が期待できます。

本市においても各学校において環境教育を実施しています。また、幼いうちから環境に関する知識に触れることは大きな体験になることから、就学前の幼児への環境教育に取り組む必要がありますが、企画から実施までを全て教育現場で行うには、専門的な知識・情報の習得や授業準備の面で教員等への負担が大きいという実情があります。

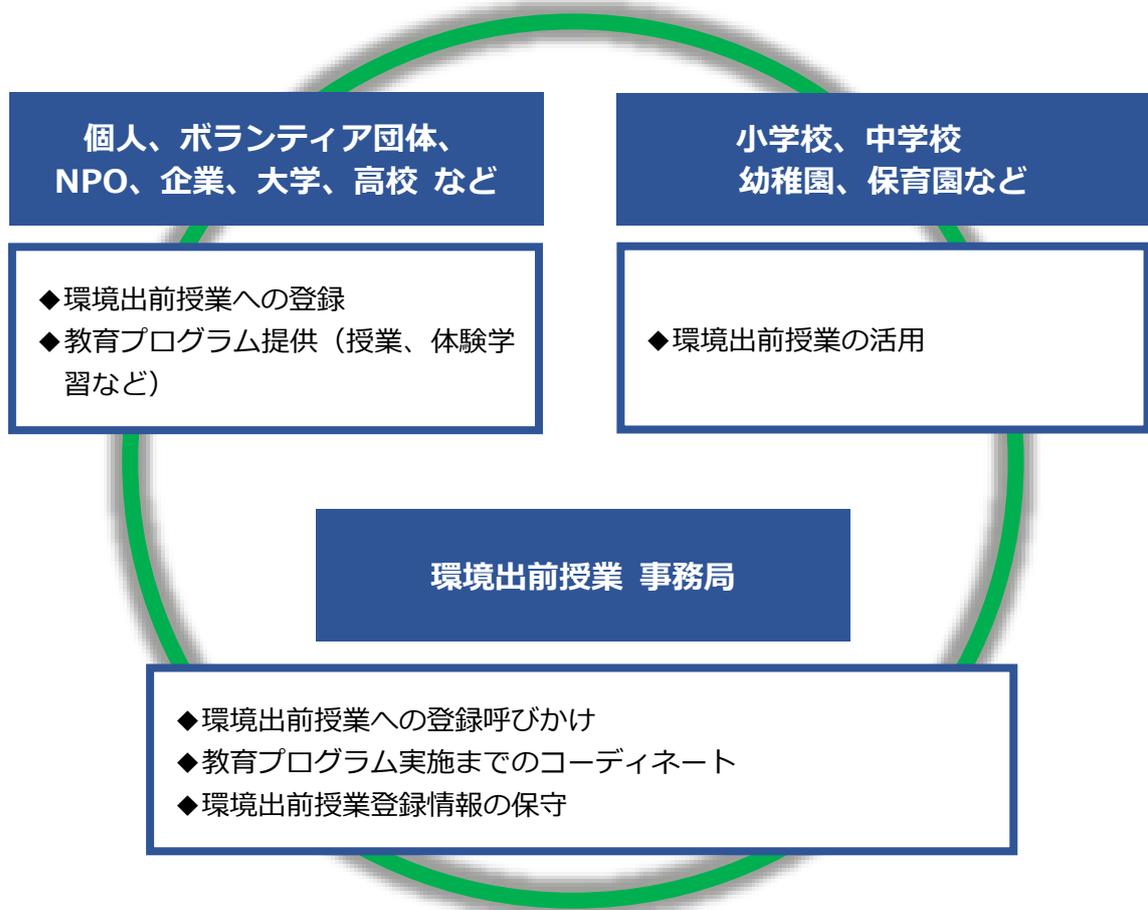
そこで、市民、ボランティア団体、NPO、企業、大学、高校等が、環境保全に対する知見を活用した教育プログラムを用意し、学校はニーズにあった教育プログラムを選択するマッチング事業を推進し、学校現場の負担軽減と環境教育の充実を図るものです。

小中学校などへの環境出前授業の実施スキーム





## 小中学校などへの環境出前授業の役割分担



## プログラム3

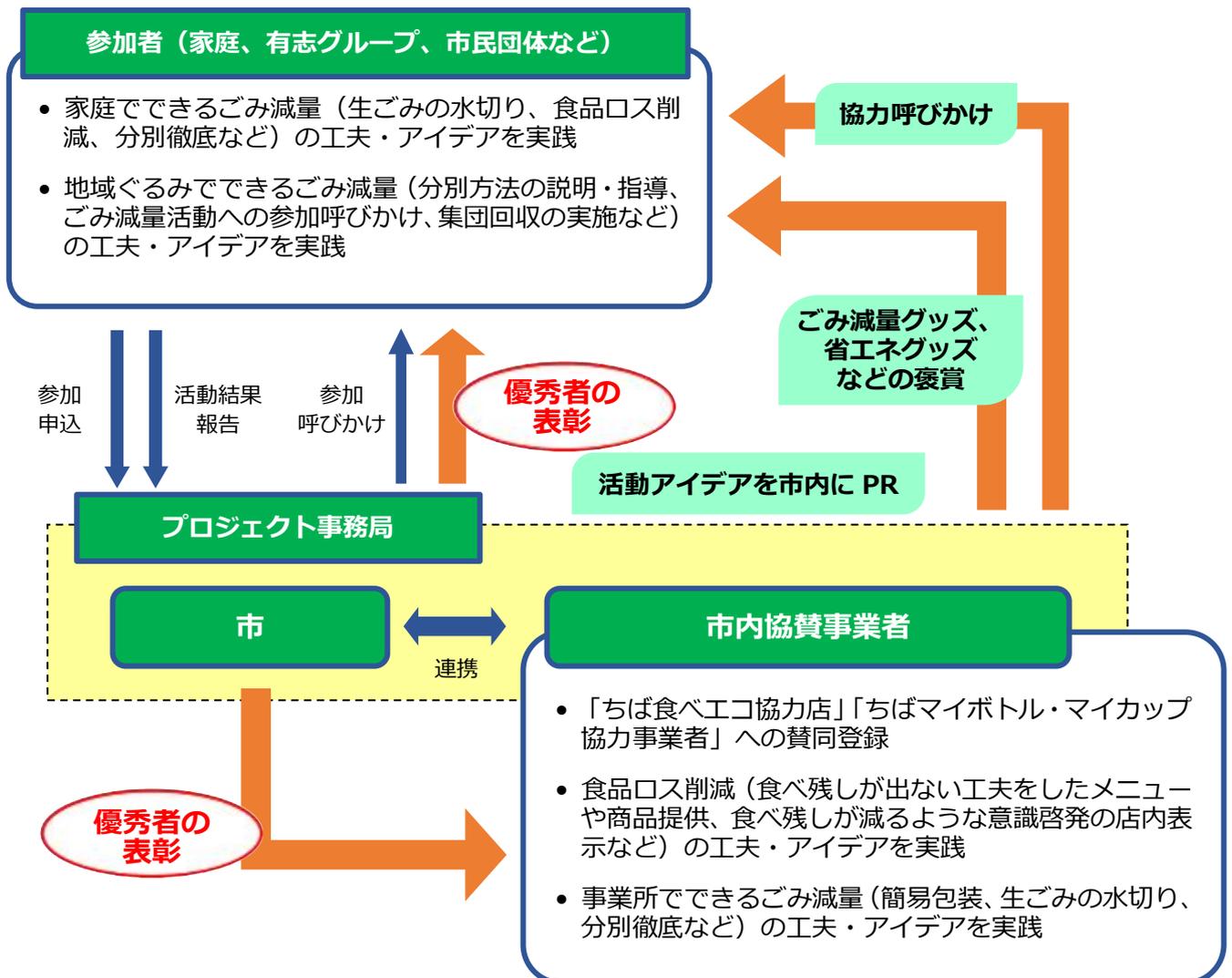
## ごみ減量プロジェクトの展開

本市では、市民、事業者に対して3Rに関する普及・啓発活動、資源ごみの集団回収の推進などの取組を継続的に実施してきました。こうした取組により、再資源化量は増加し、ごみの総排出量は減少している状況です。

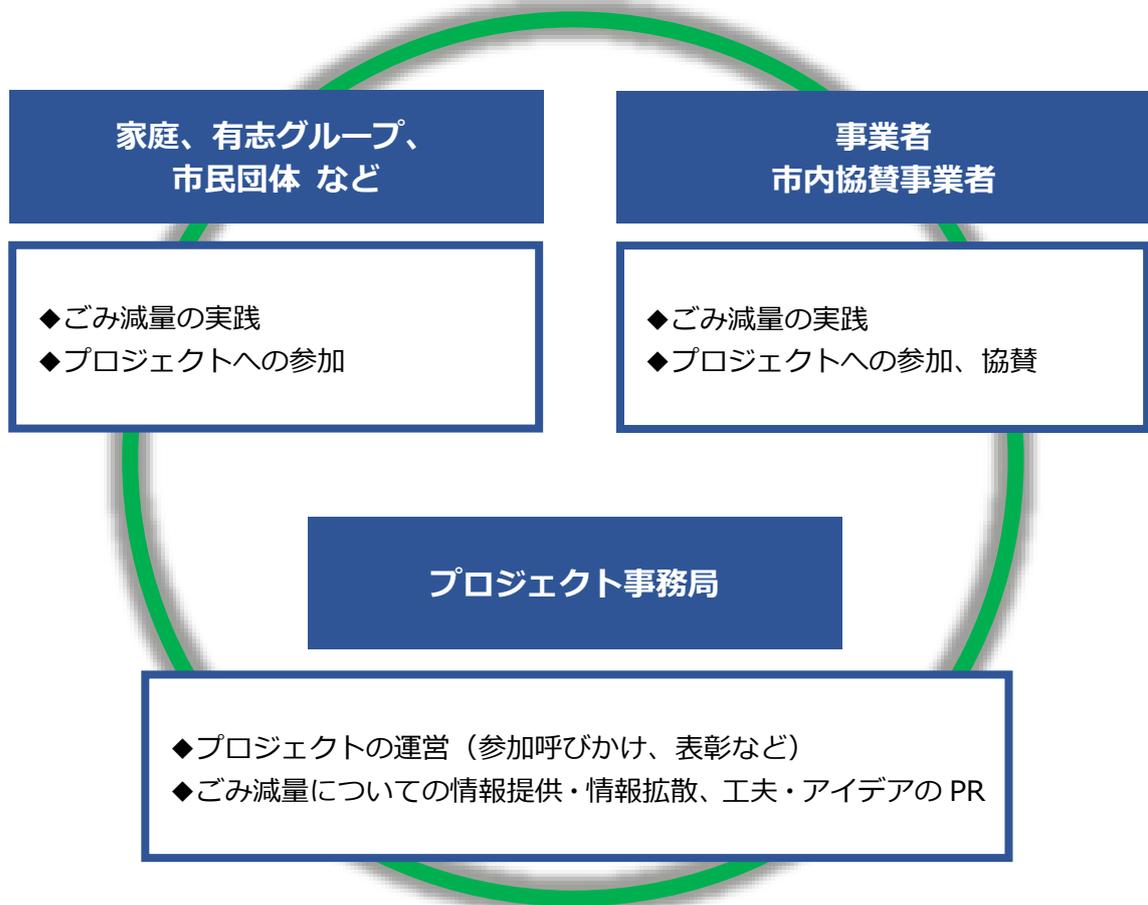
ごみ焼却による環境への負荷のほか、ごみ処理後に発生する焼却灰などを埋め立てる最終処分場の残容量も少なくなっており、さらなるごみ減量に取り組んでいく必要があります。

「ごみ減量プロジェクト」は、日常の暮らしの中で経済的負担を伴わずに工夫をこらすことで、ごみの減量を目指すもので、ごみの発生抑制と分別の徹底による資源化を図り、焼却処理されるごみの削減に向けて、市民、事業者と連携しながら、「ごみの発生」に対する気遣いを醸成します。

### ごみ減量プロジェクトの実施スキーム



## ごみ減量プロジェクトの役割分担



デコ活とは、2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、COOL CHOICE運動に代わる新しい国民運動です。本市でも、脱炭素社会実現のため、市民、事業者、市が一体となり、デコ活を推進します。

そこで、デコ活の普及に向けて、市民、事業者、市の協働によるデコ活のイベント、PR等を通年にわたって展開します。

既存のイベントを活用したデコ活のPR・周知のほか、本市の地域性を活かしながら、子どもから大人まで誰もが楽しく参加できるイベントを企画・立案し、デコ活を推進します。

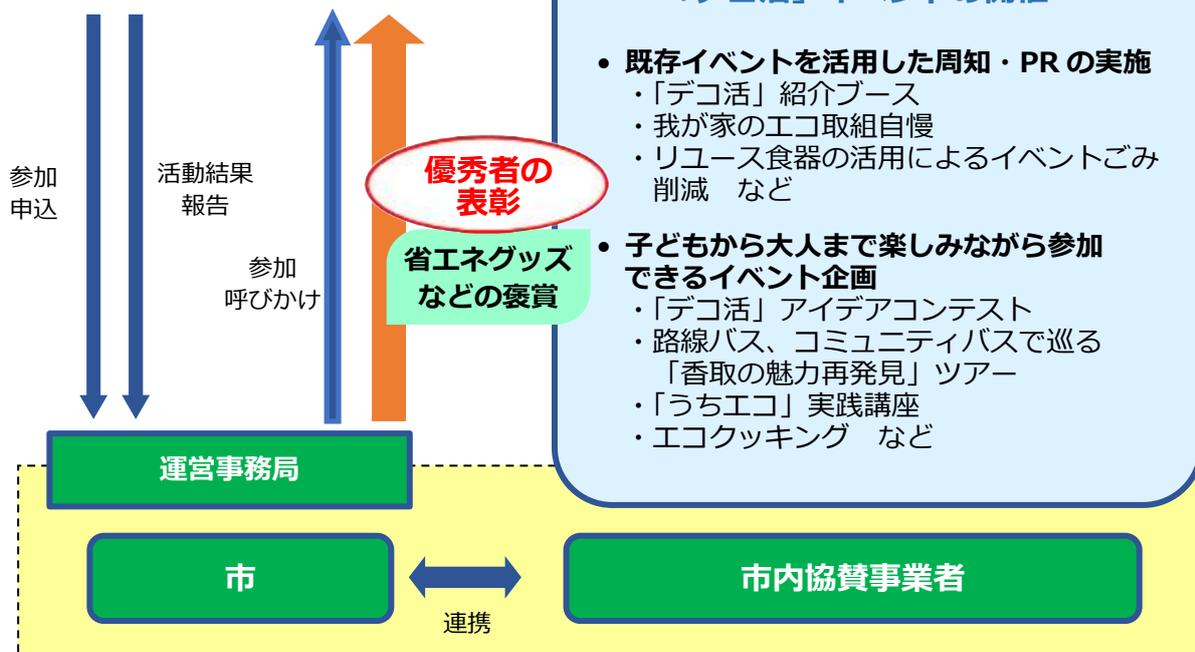
### デコ活の実施スキーム

#### 参加者（家庭、事業者、市民団体など）

- デコ活宣言
- 家庭、事業所、地域ぐるみでできる脱炭素の実現に向けた取組の工夫・アイデアを実践
  - ・電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む
  - ・LED・省エネ家電などを選ぶ
  - ・食品の食べ切り、食材の使い切り
  - ・テレワークの促進

#### 「デコ活」イベントの開催

- 既存イベントを活用した周知・PRの実施
  - ・「デコ活」紹介ブース
  - ・我が家のエコ取組自慢
  - ・リユース食器の活用によるイベントごみ削減 など
- 子どもから大人まで楽しみながら参加できるイベント企画
  - ・「デコ活」アイデアコンテスト
  - ・路線バス、コミュニティバスで巡る「香取の魅力再発見」ツアー
  - ・「うちエコ」実践講座
  - ・エコクッキング など



デコ活運動の展開の役割分担

